



としょかんだより

10月号



October

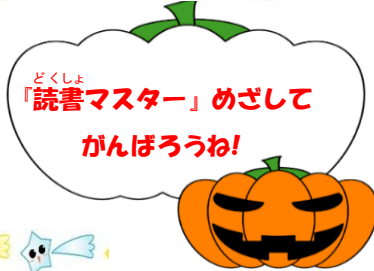


こがねいろ いなほ かぜ きせつ みのほど こうべ た いなほ
黄金色の稲穂が、風になびく季節になりました。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざ
があります。稲穂は、実れば実るほど穂先が低く下がります。この言葉は、元々は口伝えで
ひろがった作者不明の俳句だそうです。この句の意味は、皆さんがこれから大きく成長していく上
で、少し控えめでいつも人と接することが大切であるということです。そういうことを思いながら稲
穂を眺めてみると、いままでと違った景色に見えてくるかもしれませんね。



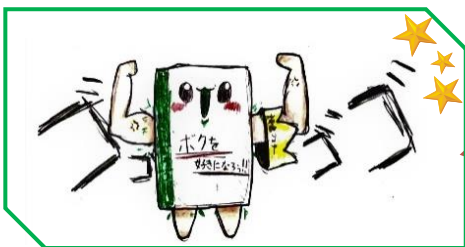
がつ がつ か だ さつすう ほん かず
4月～9月までの貸し出し冊数(本をかりた数)

28,357冊 (ひとり当たりの貸し出し冊数 83.4冊)



『読書マスター』のキャラクターが決定しました!

こんねんど どくしょ 『読書マスター』のキャラクターをみなさんに募集しました。すてきな作品がたくさんありました。その中から図書
委員さんに13作品を選んでもらい、そのあと図書室に本を借りに来てくれた人に投票してもらいました。投票の結果、6
年生のりんかさんの作品が選ばれました。おしくも選ばれなかった入賞作品や特別賞を取った人にもオリジナルしおりを
プレゼントします。たくさんの応募、ありがとうございました。



このキャラクターは、3学期の終わりに
『読書マスター』の人に贈る認定書(た
くさん本を読んで読書の達人と認めら
れた人)に登場します。



うれしいです!
りんかさんより



みんなしょうずね!
どれにしようかな?

おすすめの本

『だんめん図鑑』 しょうがつかん 小学館

ふだんでは、見ることができない『モノ』の断面(半分に切った時の面)を紹介している写真絵本
です。野球ボール、サッカーボール、スマートフォン、歯ブラシ・・・「えっ!」と思う意外な中身。ぜ
ひ読んでみてくださいね。「そうだったのか しゅんかん図鑑」もおもしろいですよ!!



これ本のしょうかい



「読書の秋」です。ハロウィンにちなんでみんなが大好きな「こわい本」を紹介します。
どの本もひとつの話が5分くらいで読めますよ。図書室に足を運んでみてくださいね。



☆「笑い猫の5分間怪談」

なめねこ町には、ふしぎなウワサがある。町のあちこちに、巨大な猫がうかんで登場し、ゾーっとする怪談をたくさん話してくれるそう
だ。それだけでも奇妙でこわいののに、なんと、その猫は、ニヤニヤ笑うらしい!! 1話5分で読める怪談集。



☆「意味がわかるとゾットする話 3分後の恐怖」



☆「百物語」



☆「3分間サバイバル」



☆「ちよいこわ ちよびっとこわーいはなし」



毎日、図書室にたくさんの人が、本を借りに来てくれます。
でも、「としよしのきまり」は守れているでしょうか。図書室に入って来る時からおしゃべりをしている人、本をもとの場所にきちんともどさない人、本だに本を投げ入れたのではと思うほど本を大切にできない人がいます。とても残念です。
みんなが「としよしのきまり」を守って気持ちよく利用できる図書室にしていきたいです
すね。

